

# スミセイ「子育てサポート」アンケート

## ～豊かな子育て環境構築のために～

住友生命保険相互会社

### <はじめに>

住友生命（社長：佐藤 義雄）では、すこやかな子育てと夢のある未来づくりに向けて、2007年（平成19年）に「未来を築く子育てプロジェクト」をスタートさせ、「子育てのすばらしさ」の啓発や、子育てしやすい環境づくりを支援しています。

このたび、子育て中の方を対象に、「子育てサポートアンケート」を実施しました。以下は、その集計・分析結果です。

### < 調査概要 >

- ◆ 調査期間 : 6月13日（土）～6月28日（日）
- ◆ 調査方法 : インターネット（携帯電話）応募および、アンケート用紙による自由記入方式
- ◆ 調査対象 : 現在、育児中の男女3,000人  
(応募総数4,809人から男女各1,500人を無作為抽出)

内訳	20代以下	30代	40代	50代以上	合計
男性：人	329	667	412	92	1,500
女性：人	508	679	269	44	1,500
合計：人	837	1,346	681	136	3,000
(%)	(27.9)	(44.9)	(22.7)	(4.5)	

### < 要約 >

- <質問1> 子育てを充実させるためのサポート。何を、どこに求めますか？
- ◆ トップは『経済的支援』、次いで『託児施設・サービス』『遊び場』。
  - ◆ 地域や企業を変える、『国』の力に期待！
- <質問2> 夫婦での子育て。役割分担の「理想」と「現実」は？
- ◆ 「理想」＝『夫4.1：妻5.9』 VS 「現実」＝『夫2.3：妻7.7』。
  - ◆ 男女別の「現実」では、女性の不満があらわれる結果に…。
- <質問3> 子どもの自立（精神的・経済的）は何歳？
- ◆ 自立は『18歳』がトップ、平均年齢は『19.3歳』。
- <質問4> 子育ての素晴らしさとは？
- ◆ まさに「育児」ではなく「育自」！！

<質問 1-1> 子育てを充実させるためのサポート。何を求める？

◆トップは『経済的支援』、次いで『託児施設・サービス』、『遊び場』。

(自由記述式／複数回答)

位	何を？	具体的内容	どこに？		
			1位	2位	3位
1	<b>経済的支援</b> (42.3%)	医療費補助、学費補助、減税、 各種手当、出産費用など	国 (70.2%)	地方自治体 (33.8%)	企業 (7.9%)
2	<b>託児施設・サービス</b> (26.0%)	保育園、託児所、学童保育、 一時預かり所、 企業内託児所など	地方自治体 (52.5%)	国 (41.2%)	企業 (18.7%)
3	<b>遊び場</b> (5.4%)	公園、屋内施設など	地方自治体 (76.1%)	国 (31.9%)	企業 (2.5%)
4	<b>医療制度・サービス</b> (4.6%)	産院・小児科、夜間救急など	国 (84.1%)	地方自治体 (73.2%)	企業 (13.8%)
5	<b>休暇制度</b> (4.2%)	育児休暇、復帰後ケアなど	企業 (74.6%)	国 (40.5%)	地方自治体 (18.3%)
6	<b>雇用体制</b> (3.1%)	在宅ワーク、勤務時間短縮、 積極雇用など	企業 (64.1%)	国 (33.7%)	地方自治体 (26.1%)
7	<b>教育制度</b> (2.4%)	高校の義務教育化、 教育の質の向上など	国 (54.2%)	地方自治体 (41.7%)	企業 (4.2%)
8	<b>地域交流</b> (1.3%)	サークル、コミュニティなど	地方自治体 (62.5%)	国 (30.0%)	その他 (30.0%)
9	<b>相談所</b> (1.2%)	定期訪問、カウンセラーなど	地方自治体 (97.3%)	国 (43.2%)	その他 (10.8%)
10	<b>安全対策</b> (0.9%)	治安、防犯、 スクールゾーン整備など	地方自治体 (65.4%)	国 (30.8%)	その他 (11.5%)

<1位：経済的支援>

全体では『経済的支援』がトップで42.3%となっており、その7割以上が「国」への要求になっています。具体的には、経済的負担の大きい医療費・学費・託児費用等の無償化・補助や、補助金・助成金の支給、減税が挙げられました。

<2位：託児施設・サービス>

「地方自治体」と「国」への要望は、「託児施設等の設置」というハード面に加え、「24時間保育や病時保育等のサービス拡充」といったソフト面まで、幅広い内容になっています。「企業」への要望も18.7%と高く、働きながら子育てできる環境の整備が求められています。

### < 3位：遊び場 >

施設の完備・充実がテーマになっていますが、その中でも、「いつでも」「小さな子どもも」「安全に」「自然に触れながら」という言葉がキーワードになっており、子どもたちがのびのびと過ごせる場所づくりが課題になっているようです。

### < 4位：医療制度・サービス >

「夜間救急」「病院の24時間対応」などの「医療体制の充実化」だけでなく、「小児科病院」や「小児科医・産科医の増加」という意見も多く、医療施設や医師不足の問題が、大きな不安要素になっていることがうかがえました。

### < 5位：休暇制度 >

1位の「企業」に対しては、「育児休暇・子育て休暇の充実」といった制度面や、「子どもの学校の行事に気楽に参加したい」という、職場に理解を求める声が寄せられました。また、「国」に対しては、男女ともに育児休暇等を積極的に取得させるための施策が求められています。

## < 質問 1 - 2 > 子育てを充実させるためのサポート。どこに求める？

### ◆ 『地域』や『企業』を変える、『国』の力に期待！

(自由記述式／複数回答)

位	どこに？	何を？		
		1位	2位	3位
1	<b>国</b> (53.6%)	経済的支援 (55.4%)	託児施設・サービス (19.8%)	医療制度・サービス (5.1%)
2	<b>地方自治体</b> (41.9%)	経済的支援 (33.2%)	託児施設・サービス (32.4%)	遊び場 (9.7%)
3	<b>企業</b> (12.5%)	託児施設・サービス (38.5%)	経済的支援 (27.0%)	休暇制度 (24.6%)

全体では『国』が53.6%でトップでした。制度や意識を改革し、地域や企業を変えていくためには、やはり『国』の力が必要です。

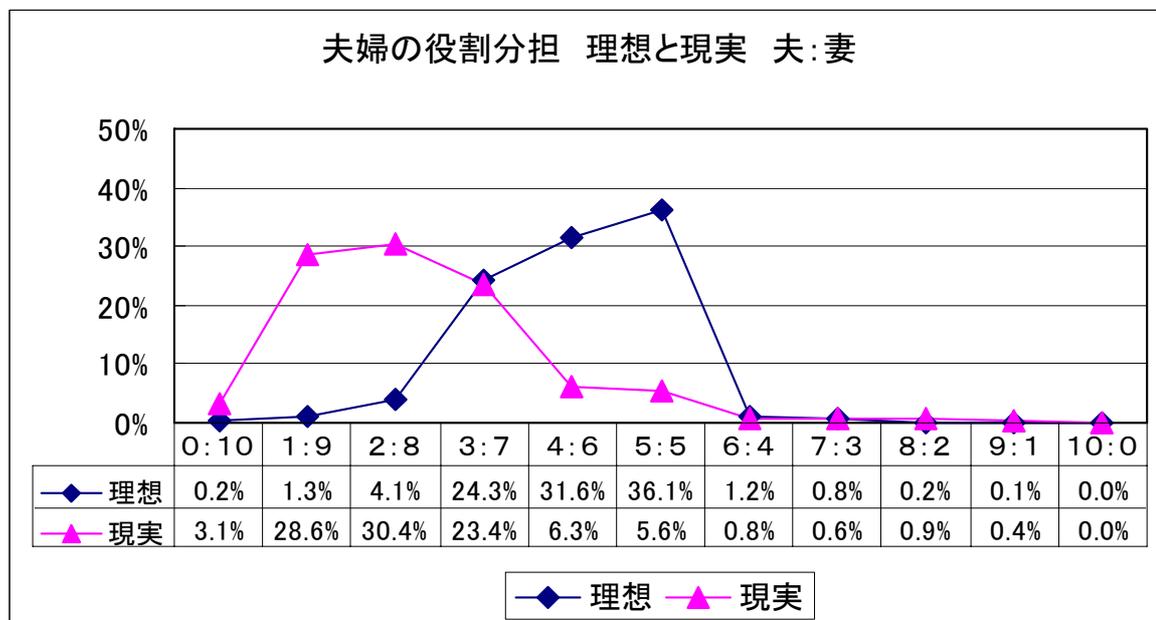
2位の『地方自治体』(41.9%)は、求めるサポートに「経済的支援」(33.2%)と僅差で「託児施設・サービス」(32.4%)が挙げられています。地域に根ざしたサービスとして、まずは「託児施設・サービス」の充実が必須要件になっているようです。

3位の『企業』は「託児施設・サービス」がトップになりました。「経済的支援」よりも高いニーズがあるという点で、上位の『国』・『地方自治体』と異なります。子育て中の労働者が安心して仕事ができるように、施設や制度、社内意識への取組みが求められています。

<質問2> 夫婦での子育て。役割分担の「理想」と「現実」は？

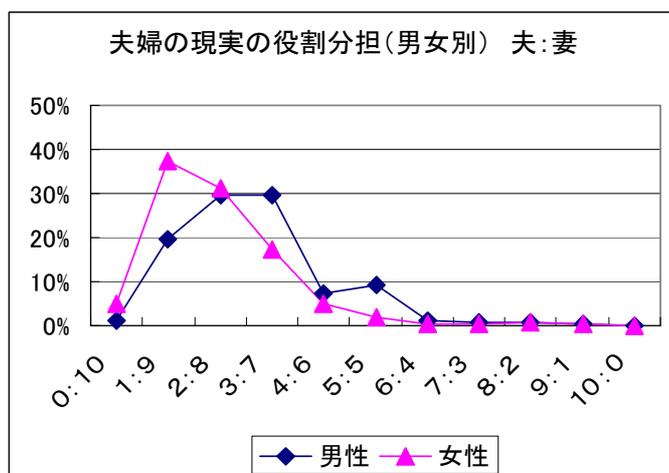
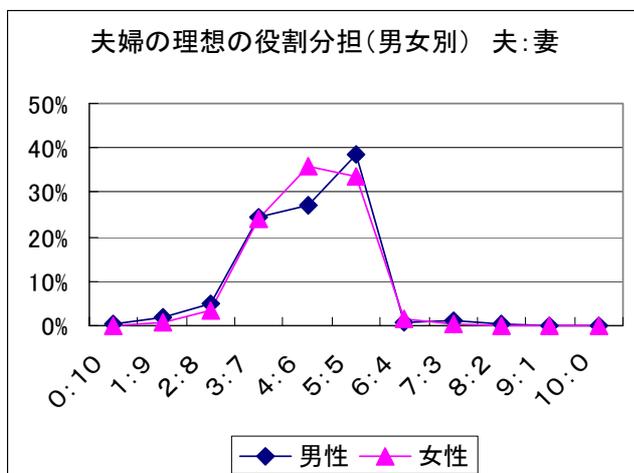
- ◆ 「理想」 = 『夫 4.1 : 妻 5.9』 VS 「現実」 = 『夫 2.3 : 妻 7.7』。
- ◆ 男女別の「現実」では、女性の不満があらわれる結果に…。

<全体> 平均値 / 「理想」 = 『夫 4.1 : 妻 5.9』、「現実」 = 『夫 2.3 : 妻 7.7』



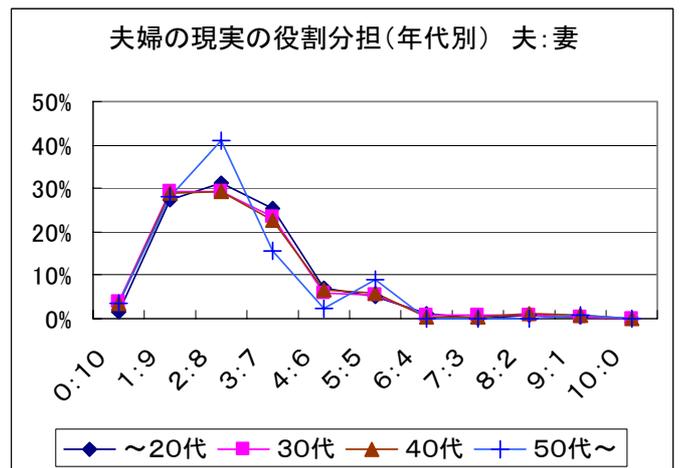
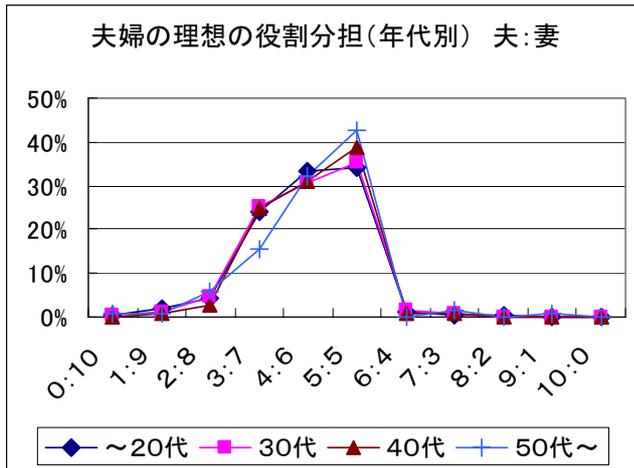
全体では、「理想」のトップは『夫 5 : 妻 5』(36.1%)でしたが、「現実」は『夫 2 : 妻 8』(30.4%)という結果になりました。平均値も、「理想」の『夫 4.1 : 妻 5.9』に対し、「現実」は『夫 2.3 : 妻 7.7』となり、約 2 ポイントもの差が生じています。

<男女別>



男女別では、男性よりも女性の方が「理想」と「現実」の乖離が見られ、夫（男性）が思っている以上に、妻（女性）は夫の役割に不満を感じているようです。「私は充分育児をしている！」と思っているお父さん方にも、さらにがんばっていただきたいですね。

## <年代別>



年代別では大きな差はありませんが、「現実」の50代以上では、女性の負担が重くなっています。ここ数十年、「女性の社会進出」や「ワークライフバランスの推進」など、社会においても様々な変化があり、夫婦の役割分担にも大きな影響を及ぼしていることがうかがえます。

## <質問3> 子どもの自立(精神的・経済的)は何歳?

◆ 自立は『18歳』がトップ、平均年齢は『19.3歳』。

平均は『19.3歳』と、20歳未満になりました。順位では、『18歳』と『22歳』がトップ3に入っており、「高校や大学卒業時」という考え方が多いようです。

また、年齢にこだわらず、「社会人になったとき」や「結婚したとき」など、人生の節目を回答とするものもありました。

位	自立年齢
1	18歳 (30.3%)
2	20歳 (26.2%)
3	22歳 (9.8%)

## <質問4> 子育ての素晴らしさとは何ですか?(フリーアンサー)

### <「育児」は「育自」、親も一緒に成長!>

- ◆ 「育児」は「育自」というけどその通り。自分も子どもと一緒に成長。(女性・20代)
- ◆ 日々教えられることばかりです。(女性・30代)
- ◆ 守るものができて、自分自身が強くなれる。(女性・30代)

### <泣いたり、笑ったり。子どもの成長を日々感じる>

- ◆ 嬉しいことは倍以上に、悲しいことは半分を感じる。(女性・20代)
- ◆ 子どもは日々成長している。その過程を間近で見られることは素晴らしい。(女性・50代以上)
- ◆ 苦労した結果が子どもの成長。(男性・40代)

### <「ありがとう」の温もり>

- ◆ 子どもが「大好き」と言って抱きしめてくれる。(女性・30代)
- ◆ 「ママいつもありがとう」という言葉に、幸せを感じる。(女性・30代)

### <「優しさ」の輪が広がる>

- ◆人に対して思いやりをもてるようになった。(女性・20代)
- ◆人と人との輪が広がるし、子どもに癒される。人として強くなれる。(女性・30代)

### <笑顔、スマイル、また笑顔！！>

- ◆何と言っても楽しそうな笑顔。(男性・40代)
- ◆10の苦労も、1の笑顔で帳消し。(女性・40代)
- ◆毎日楽しくて仕方ない。明日はどんなことで笑わせてくれるのか。(女性・30代)

### <癒し～悩みも解消>

- ◆子どもの笑顔が一番の癒し。(男性・40代)
- ◆子どもに慰められたり癒されたり、無邪気な心から発する色々な言葉。(女性・50代以上)
- ◆子どもがさらっと言った言葉に気付かされる。良きアドバイザー。(女性・40代)

### <明日へのパワーの源>

- ◆明日への活力。(男性・30代)
- ◆頑張る力を与えてくれる。(男性・30代)

### <毎日が発見～毎日が宝探し>

- ◆日々冒険で、毎日が宝探しのようなもの。(女性・30代)
- ◆子どもが目標に向かっていく時の目の輝き。(男性・50代以上)
- ◆子どもの純粋な発想に触れられる。(男性・20代)

### <家族の絆>

- ◆夫婦の絆が強くなる。(男性・40代)
- ◆家庭に会話や笑顔、共通の話題を増やしてくれる。(女性・30代)

### <親への感謝>

- ◆親への感謝の気持ちを再認識させてくれる。(女性・30代)
- ◆子育てするまではわからなかった親の気持ち、家族の大切さがよくわかる。(女性・20代)

### <生命、未来>

- ◆命の大切さを感じる。(男性・50代以上)
- ◆子どもの将来を考えることで、環境や地域のことも真剣に考えられる。(女性・20代)

「子育て」は楽しいことばかりではありません。しかし、日々の成長に幸せを感じ、かわいい笑顔に癒され、新たなパワーをもらうなど、子どもたちからかけがえのないものをたくさんもらっているようです。また、親の気持ちを理解し、周りの人や子どもたちから学びながら「親」として成長するなど、まさに子育ては「育児」ではなく「育自」のようです。

以上